

あとがき

本書は、社団法人日本精神保健福祉士協会が、厚生労働省の平成20年度障害者保健福祉推進事業に基づき、本年度中に「精神障害者の円滑な地域移行を推進する地域体制整備コーディネーター等の人材養成研修プログラム開発事業」を行った成果をまとめたものです。本協会が、精神障害者地域移行支援事業に関して、厚生労働省補助金事業としての調査研究等に着手したのは平成18年度からです。それ以前から、私たちは国家資格専門職の当然の役割として、個々の現場における精神障害者の社会復帰支援に従事して参りましたが、この調査研究事業を展開したことにより、全国各地の取り組みに学ぶ機会を多数与えられたことに深く感謝申し上げます。

都道府県事業として実施されている本事業は全国津々浦々、諸事情が勘案され必ずしも同じ形式で展開されているわけではありません。しかし、精神疾患や精神障害をもちながらも、地域で自分らしく暮らしたいというご本人の希望や意欲を引き出し、関係者が一丸となって努力と工夫を重ねていることは共通しています。日本の歴史を紐解けば、精神科病院の中で自前の努力をするしかなかった社会復帰支援に、より多くの方が参画するようになり、地域社会における支援体制も徐々に整えられてきていることは喜ばしいことです。ただし、十分に満足な状況に至るには、今後とも努力を重ねる必要があると多数の関係者が口にされています。地域体制整備コーディネーターは、こうした声に耳を傾け、何よりも精神障害をもつ当事者の声を真摯に聴くことにより、障害の有無にかかわらず住民にとって暮らしやすい地域づくりを実現させていくことが求められています。本協会では、テキスト作成や研修開催を通じ、今後ともこのような取り組みに携っていきたいと考えております。

なお、アンケート調査にご協力いただいた都道府県担当課の皆さまには、この場を借りて御礼申し上げます。殊に先駆的な取り組みをされている都道府県の皆さまからは、実践的な示唆をいただくことができました。また、そこから得た知見を、今後取り組みの拡充を目指される地域にお伝えする役割をいただいたことも大変ありがたく思っております。本テキストも、そのような意味で広くご活用いただけることを期待して止みません。

社団法人日本精神保健福祉士協会
常任理事 田村綾子

■資料 委員会体制及び開催経過

1. 委員会体制

委員長	田村 綾子	社団法人日本精神保健福祉士協会	東京都
-----	-------	-----------------	-----

① 研修プログラム開発及びテキスト作成委員会

委員	岩上 洋一	埼玉葛北障がい者生活支援センターふれんだむ	埼玉県
委員	行實 志都子	文京学院大学人間学部人間福祉学科	埼玉県
委員	國重 智宏	特定非営利活動法人多摩在宅支援センター円	東京都

② 調査及び研修企画運営委員会

委員	岩尾 貴	石川県立高松病院	石川県
委員	尾形 多佳士	平松記念病院	北海道
委員	山田 伸	桜田病院	青森県
委員	渡辺 由美子	市川市福祉部障害者支援課	千葉県
委員	大塚 直子	井之頭病院	東京都
委員	上田 幸輝	地域生活支援センター アンダンテ	大阪府
委員	竹内 明德	岡山県精神科医療センター	岡山県
委員	斉藤 晋治	広島国際大学 医療福祉学部 医療福祉学科	広島県
委員	渡邊 俊一	植田病院	福岡県
委員	西銘 隆	田崎病院	沖縄県
委員	石井 裕子	丸亀市役所 福祉課	香川県

【協力】

厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部

2. 委員会開催経過

① 研修プログラム開発及びテキスト作成委員会

	開催日	開催場所
第1回	平成20年9月2日	本協会事務局会議室
第2回	平成20年10月22日	本協会事務局会議室
第3回	平成20年11月18日	本協会事務局会議室
第4回	平成20年12月11日	本協会事務局会議室

② 調査及び研修企画運営委員会

	開催日	開催場所
第1回	平成20年11月15～16日	本協会事務局会議室
第2回	平成20年12月15～16日	本協会事務局会議室
第3回	平成21年1月17～18日	本協会事務局会議室
第4回	平成21年3月7日	本協会事務局会議室